

ら登っている途中であった。2組目は男女のペアである。中々終わらず待っている間が非常に寒い。先行パーティが終わり、今回の核心である。M野さんがリード、N田さんがビレイする。残置(三箇所)にヌンチャクを掛けて登って行く。持ってきたアブミは、今回は未使用。M野さん、N田さんがいなかったら今回は最後まで行けなかった。2人に感謝である。我々はロープにヌンチャクを掛けてトラバースして行く、緊張で一瞬寒さを忘れる程である。

次の滝をどのように登るかを試算していると、突然、小さな若い男の子3人組が音楽を奏でながら現れる。ヒョイと現れると躊躇なく飛び込み、なめ滝に手を掛けタッタタと登って消えて行く。2人目。3人目は流れに乗れずに左岸に流されて行く。先行した1人が見に来て、

お助け紐を出すも掴もうとする
とひっこめたりしてじゃれ合っている。そのうち3人目も消えて行く。(注。リズム感たつぷりに登って来たので、小さいわけでも、音楽を奏でて来たわけでもないのですが、私があるように感じてしまった)。ちなみに、我々はやっと登って行く。

その後、手足ともにホールドがないウォーターライダーを恐々と登り、13:04ゴルジュ終了点到着。晴れ間が出てきて、温かさにホットしながら休憩しどのように帰るかを相談。本日、大活躍のM野さん、予定通りにピストンで戻りたいとの言葉にみな了解する。

13:28ゴルジュ終了点を出発する。13:44ゴルジュ入口の滝にM野さん先頭に飛び込む。私は足を震わせながらやっと飛び込む。ウォーターライダーで足を滑らせて羽竜さんの股下

を物凄い勢いで流されて行く。

羽竜さんはびっくりしたが流された私はもつとびっくり。でも、気持ちには良かった。次は二条滝壺の滝。M野さんは果敢に飛び込む。年青組はこれにはビビり、巻いて降りる。途中で飛び込もうとするも足場が悪く中々飛び込めない。さらに進み、小さな滝壺に飛び込む流れに乗れずに滝壺に戻されて行く、必死になつて泳ぎ対岸に無事着く。羽竜さんとは見ていると、同じように滝壺に戻されて行くので手を出し引っぱり上げる。いよいよ、最後の核心の6mジャンプ。当然、M野さんは飛び込み。我々、4名は当然、懸垂下降。

15:15 西沢溪谷駐車場着後、解散です。今回は鈴木さん、不参加のアクシデントがあったが予想以上に泳ぎと飛び込みが厳しい沢で楽しめました。ありがとうございました。以上

ヘコースタイム

8:14 西沢溪谷駐車場出発、
8:38 登山届ポスト、8:51 山荘、
8:58 吊り橋、9:07 鶏冠谷出合。
9:15 六m滝到着。9:23 六m滝
Mさん登り。9:51 六m滝全員登
上。10:11 二条滝到着。10:36
二条滝全員登り。10:51 ホラノ
貝入口到着。ナメ滝に取付くこ
とが出来たのが11:32。11:40
Mさんナメ滝登り。12:05 ナメ
滝全員登り。12:35 二段滝全員
登り。13:04 ゴルジュ終了点到
着。13:28 ゴルジュ終了点出発。
13:44 ゴルジュ入口のナメ滝に
飛込、14:31 六m滝懸垂下降。
14:38 鶏冠谷出合、15:15 西沢
溪谷駐車場着記録 O田さん



終了点にて